

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 23

2010年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年がよい年となりますように！

レクリエーションイベント

みんなで楽しくおかいもの&クッキング



2009年11月22日(日)11:00~16:30

会場：大阪市立旭区民センター 調理室

助成：大阪府地域福祉振興助成金・活動費助成

参加者 子ども：10名（うち障害児8名）、
ボランティア：15名（大学生14名、社会人1名）、
スタッフ：3名

恒例になったクッキングイベントです。ボランティアのパワーで活動内容が充実していきます。10月11日に大阪工業大学ボランティア教育研究会のメンバーの方々4名とほうぶスタッフ3名が集まり企画会議をしました。メニュー決め、準備や材料、調理手順の伝え方、当日のスケジュールなど、学生さん達が積極的に立案してくれました。

「自分達がやりたいこと」「子ども達に伝えたいこと」を発言してくれ、今回は、チャーハン・スープ・マフィンを作ることに決め、①お米をとぐことを教える、②子ども達が調理に参加しやすいようにする（簡単なメニュー、野菜切り、肉ではなく切りやすいウインナーを使うなど）、③子どもが好きなものを選ぶようにする（マフィン材料にするジュースやトッピングを選んで買う）を目標にしました。スタッフは調理手順や材料のアドバイスをする程度で、当日までに作成する調理手順を伝える紙芝居やスケジュール表の作成も引き受けてくれ、頼もしい限りでした。その後、ボランティア募集をしたところ、以前にもクッキングの活動に参加してくれた学生さんが、企画にも参加したかったと連絡をくれて、買い物カードの作成や当日の担当表の作成など、準備を手伝ってく

れました。また、以前より、ほうぶのイベントには障害をもつ学生さんの参加がありましたが、今回は、2名のボランティア参加がありました。ボランティアは百人百様で主体的な活動です。様々な人が自然体でボランティア活動に参加できる環境作りをしていきたいと改めて思いました。社会人ボランティアも毎回参加していただき、専門職ならではの視点でのサポートに加え、回を重ねる毎に「見守る支援」ができるようになったと話してくださいました。多くのボランティアの方々に支えられて、ほうぶの活動が成り立っていることを改めて感じたレクリエーションイベントでした。

今回、子ども達が調理作業をなるべく多くできるようにと募集人数を少なくし、ボランティアの人数も安全面を考慮した最低人数まで抑えました。スタッフや社会人ボランティアは見守り係りとして、進行も学生さんにしてもらいました。初参加のお子さんが半数でしたが、ボランティアの丁寧なサポートで、おいしい料理ができました。普段はしっかりものの兄弟姉妹も大学生のお兄さんお姉さんに「自分」に注目してもらうことができ、学校がしんどくなっている子どもも優しいお姉さんに寄り添われて安心してのびのびと参加でき、お料理が苦手な子どもも強要されることなく作りたくさん食べて、みんなが楽しく買い物や調理をすることができました。以前は料理に関心がなさそうだったのに、今回は積極的に調理をしていた子どもの成長に、嬉しい驚きもありました。たくさんできたマフィンと同時に進行の保護者交流会に差し入れてくれました。

新型インフルエンザの流行でヒヤヒヤしながらの開催でしたが、受付で参加者の体調確認を行い、消毒液の設置、手洗いの徹底やマスクの着用をして、看護師スタッフを中心にできる限りのインフルエンザ対策を行い開催しました。イベント後、インフルエンザに罹ったとの報告もなく、スタッフ一同、胸をなでおろしています。ご参加いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。



<活動スケジュール>

- 9：30 ボランティア集合 自己紹介、
スケジュール&紙芝居&買い物リストの確認、
グループ分け&打ち合わせ、子ども連絡票確認
- 10：30 受付開始 保護者から聞き取り、体調&荷物の確認
- 11：00 自己紹介 スケジュール確認 グループ活動開始
米をとぐ（しかける）
グループ毎に買い物（買い物リストを持って） 作り方の説明（紙芝居）
調理（①マフィン作り ②チャーハン作り ③スープ作り）
食事 保護者へのマフィンの差し入れ
片付け 子ども報告票の記入
保護者への活動報告 忘れ物チェック
- 15：00 子ども解散 片付け
- 15：20 ボランティア振り返りティータイム
- 16：30 終了



＜ボランティアの報告と感想から＞

- ・ 少しの時間のかかわりでも、手を握ってくれるなどのコミュニケーションがしっかりとれたのでとてもうれしかったです。子ども達がすることをどこまで手伝ったらよいかを見極めるのがとても難しいと思いました。
- ・ 最初は包丁を少し怖がっているようでしたが、自分から人参を切りたいと言い、一生懸命人参を切ってくれました。食べる時も残さずきれいに食べていました。チャーハンは一人当たりの量が結構多かったのですが、おかわりをしたいと言っていました。移動するときなどはしっかり手をつないでいてくれました。やってみたいこととやりたくないことの意味表示がとてもハッキリしていました。短い時間でしたが、一緒に過ごさせていただいてとても楽しかったです。
- ・ 最初の説明から、お米をとぐ作業は、やる気があまり無いようでしたが、買い物のためにスーパーに移動するときから、やる気がだんだん出てきているように感じました。スーパーから帰ってきたとき、真っ先に手を洗い、やる気十分でした。料理の作業も何でも「やる！」と言って、玉葱の皮むき、ピーマンの種取り、ウインナー切り、スープを混ぜる作業、野菜を炒める、マフィン生地づくりなど、積極的に取り組んでいました。卵が嫌いということで、チャーハンの卵が関係する作業はしませんでした。マフィン生地づくりのとき、卵を割ることができました。ずっと調理台で作業をし、食べる時も「おいしい！」と言って完食しました。
- ・ 今日担当した Jくんは、障害はなく、グループの中心となって行動してくれたので、ボランティアとして手伝うとかではなく、普通に友達と遊ぶみたいにとっても楽しかったです。
- ・ お買い物の時に積極的にカゴを取りに行ってくれたりしました。好きなジュースを聞くと、「これ！」と教えて持ってきてくれました。今日初めての参加のお子さんだったので、そわそわしたり落ち着きがない時もありましたが、それは私の声かけ不足だったと反省しました。私の話をきちんと聞いて答えてくれました。声かけをすると、自分から何でもしてくれました。ご飯もおいしそうに食べていました。マフィンが出来上がるのをすごく楽しみにしていました。安心してくれるようにどういう声かけが良かったのか考えたいです。最後に「さようなら」と言ってくれてうれしかったです。
- ・ 最初はとても不安だったのですが、一緒にグループの人たちと一緒に同じ作業をしたら、不安も無くなり、楽しめるようになりました。コミュニケーションをたくさんとるとというのは、本当に大切なことだと、一緒に料理を作ることで、改めて感じました。



- ・初めての参加で、とても緊張していたのですが、Hちゃんがすごく人なつっこい子&周りの人がいい人ばかりだったので、すぐになじむことができ、本当に楽しかったです。料理ができないので不安でしたが、案の定、足を引っ張ってしまいました(笑)。でも、Hちゃんが「おいしい」と手話で言ってくれたので、良かったです。
- ・今日はたくさん迷惑をかけてしまいました。自分の不注意さに気づきました。これからはもっと安全面に注意して取り組もうと思います。
- ・皆、自分ができる以上の力を発揮してくれて、僕の方が教えられました。普段、自分がどれだけ料理していないか、実感しました。これを境に料理をしてみようと思います。
- ・今日は2人体制だったので、保育のほうはパートナーに任せて、洗い物などを中心にやっていました。全体を見るようにしていました。今日はできるだけ調理室でいろんな体験をしてもらおうと考えて行動しました。班の人のできたときや食べる時の笑顔が素晴らしかったです。

<保護者からのメッセージから>

- ・ほうふで手話を覚えて「めっちゃ得意」と思っています。Iさん(スタッフ)に教えてもらったので、次回のほうふのイベントでは必ず披露したいと待ち構えています。「手話ができよかった」とお姉ちゃんに伝えてほしいと言っています。またよろしくお願いします。
- ・学校では「しんどい。しんどい」の毎日です。今日も体力的に無事に参加できるか心配でしたが、いつもとは違う体験をさせたくて、気分も変わるかと思い、参加させました。大学生のお姉さんのおかげで、充実して楽しい時を過ごせたようで、顔の表情もよく、満足感も伝わってきて、私もうれしいです。家に帰ってからも、その時の様子を嬉しそうに話してくれました。
- ・お迎えに行ったときに落ち着いて座っていてホッとしました。帰宅後もいつものペースを崩すこともなく、淡々と過ごしていました。「楽しかった？」と問いかけには、当然、「楽しかった」(オウム返し)ですが、「何食べたん？」には、「チャーハン食べた。お料理した」と教えてくれました。こだわりが強く、環境の変化が苦手な点を克服するためにいろいろな経験をさせたいという思いから、今回、初めて参加させていただきました。何の問題もなく、楽しく活動できたようなので、嬉しく思います。
- ・子どものようすを見守っていただいたことがよくわかりました。本人の頑張りをととても丁寧に報告していただいてうれしいです。お兄さんとドラゴンボールの話をしたこと、ポケモンの話をしたことをとても喜んで話してくれました。「いっぱい話をしてくれるお兄ちゃ



んで楽しかった」と伝えてくれました。

- 本人に感想を聞くと、お菓子作りがとても楽しかったそうです。4人兄妹の一番末っ子の甘えん坊なので、かかわっていただくことがうれしいのだと思います。親反省。
- しゃべれないので本人から感想を聞くことはできませんが、わかることがあります。心のバロメータの一つが食欲です。心が穏やかでないと食べません。いっぱい、それも人の分まで食べたということを知り、とても楽しかったということが分かりました。次回は、調理の体験が増えるように、声かけして少しうながしていただきたいと思います。
- 周囲の人のようすがとても気になるので、自分の作業より、周りの友達の指示(料理しろ!)をやっていたのではと思います。人参を切ることができて良かったです。自宅では調理台が高くて、「したい!」と言ってもさせてやるのがなかなかできません。一緒に包丁などの調理器具を持って一連の調理作業ができれば、自分ひとりでは作れなくても、料理の手順は覚えられると思います。そうすれば、介助者に指示を出して料理をする(=自分で作る)こともできるようになります。また、このような機会があればと思います。
- 一緒に楽しく時間を過ごして下さってありがとうございました。とてもうれしそうな顔をして帰りました。たくさん食べたこと、おいしかったこと、がんばってきたことを伝えてくれました。みんなと一緒に時間をすごせること、何かに取り組むことが子どもにとっては何より一番です。ありがとうございました。
- 最近、とても積極的です。ボランティアさんの報告に「積極的に取り組んでいました」とあったことで、よりそれを実感できました。カレンダーを見て、「ほうふ、クッキング、楽しみ!」と何日も前から言っていた通り、当日もワクワクしご機嫌で参加していきました。ただ、「食」に対する興味があまりないだけにクッキング作業にどれくらい参加するのかな?という心配はありましたが、今回は楽しんで加わっていたようで、ホッとしました。本人の感想もやっぱり「楽しかったよ!」でした。でも、今回はよほど楽しかったらしく、初めて自分から「今日の記事を書くよ」と言って書いていました。こんな息子を見るのは本当に初めてで日々成長する姿に驚いています。
- チャーハンがおおもりでおおかった。たのしかった。またつくりたいです。(子ども本人)
- 初めての参加でなじめるか心配しましたが、楽しくできたようで安心しました。預けたときの顔と迎えに行った時の顔がとても違っていたので、本当に楽しく過ごせたのだとわかりました。



障害をもつ子どもの 保護者交流会 義務教育修了後の進路について

2009年11月22日(日)11:00~16:30

会場：大阪市立旭区民センター 集会室3

助成：大阪府地域福祉振興助成金・活動費助成

参加者 8名(父親2名、母親6名)、スタッフ：1名

子どものレクリエーションイベントと並行して、保護者交流会を開催しました。一昨年
から、子どもの将来や自立について考えることをテーマに開催しています。今回は、高校
進学についての話をしました。障害をもっている子どもは、中学卒業後は特別支援学校に
行くのが一般的と考えられがちで、知的障害生徒のためのコースや教室が設置されている
高校があることや一般受検が可能であることについての十分な情報提供が行われていない
現状があります。そこで、今回は、様々な資料をもとに高校進学についての情報を提供す
るとともに、知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室、公立の一般高校に通ってい
るお子さんの保護者の方々からの資料やお話により、受検に向けての準備や高校生活のよ
うすを具体的に伝えていただきました。その後、質疑応答や意見交換を行いました。少人
数だったため、じっくりと話ができた交流会でした。

小学5年生から高校3年生までの保護者が参加してくださいました。参加者全員が、「参
加してよかった」「配布資料が役に立つ」とアンケートに答えてくださいました。たくさ
んの資料準備が大変だったのですが、役立てただけそれで頑張った甲斐がありました。

また、今回は、お父さんの参加が2名あり、うれしく思いました。今後も、お父さん
のご参加、ご両親でのご参加、ぜひお待ちしております。

<参加者の感想から>

- ・ 全体的にあまり一般的に聞けないことなので、参考になった。
- ・ 先輩保護者3名の方、それぞれに体験談を文章にも残していただいていたので良かったです。後で読み返したりできるので。昨年とは、また違った思いで参加できました。子ども自身が一年で随分成長し、私の気持ちも変化しています。来年はまた違う気持ちになっているかな？
- ・ 参加してよかった。今後の見通しが少し立ちました。
- ・ 高校の様子のイメージがわかった。受検までの準備も含めてわかったような気がする。
- ・ 次回も進路の勉強会をして欲しい。
- ・ 話を聞いて、自分の不安や悩みが解消されることは無いのですが、未知の世界(?!)で、生活しているお子さんの様子が聞けてよかったです。
- ・ 子どものイベントと同時間に保護者の会があり、助かります。

昨年は、スタッフそれぞれが公私ともに本当に大変な1年でした。そんな中、5周年記念イベントにはほとんどのスタッフが集ることができました。皆さんにとっても、スタッフにとっても、心地よい居場所となるよう、今年も出会いとつながりを作っていきたいと思えます。「今年は、寅年、トライ！トライ！の年ですよ」とお年賀メールをいただきました。創造的な活動にもトライし続けます。ご協力をよろしくお願いいたします。

